

## 令和3年度第3回千葉県図書館協議会配付資料一覧

- ・次 第
- ・座席表
- ・千葉県図書館協議会委員名簿
- ・千葉県図書館協議会出席職員及び県立図書館幹部一覧
- ・千葉県図書館協議会関係条例・規則
- ・資料1 令和4年度千葉県立図書館事業計画（案）について（協議）
- ・資料1－1 探究学習についての利用支援方法の検討【新規】（案）
- ・資料1－2 手続きのオンライン化の検討【新規】（案）
- ・資料2 千葉県デジタルアーカイブ及び電子資料、電子書籍について（協議）
- ・資料2－1 千葉県デジタルアーカイブの取組と課題
- ・資料2－2 電子資料、電子書籍サービスの今後の取組と課題
- ・資料3 新県立図書館等複合施設整備事業（報告）
- ・令和3年度要覧
- ・各館の館報等

### ○参考：千葉県教育委員会ホームページ公開資料

- ・千葉県立図書館基本構想（平成30年1月千葉県教育委員会策定）
- ・新たな知の拠点づくりへの提言

（平成30年10月新たな「知の拠点」づくり有識者検討会議）

- ・新千葉県立図書館等複合施設基本計画

（令和元年8月千葉県・千葉県教育委員会策定）

- ・新千葉県立図書館・県文書館複合施設整備計画

（令和3年8月千葉県・千葉県教育委員会策定）

### ○参考：千葉県立図書館ホームページ公開資料

- ・令和3年度要覧

令和3年度第3回千葉県図書館協議会 次第

日 時 令和4年3月16日（水）  
午後1時30分～  
場 所 千葉県文化会館  
聖賢堂第3会議室

1 開 会

2 議長あいさつ

3 議 事

（1）令和4年度千葉県立図書館事業計画（案）について（協議）

（2）千葉県デジタルアーカイブ及び電子資料、電子書籍について（協議）

・千葉県デジタルアーカイブの取組と課題

・電子資料、電子書籍サービスの今後の取組と課題

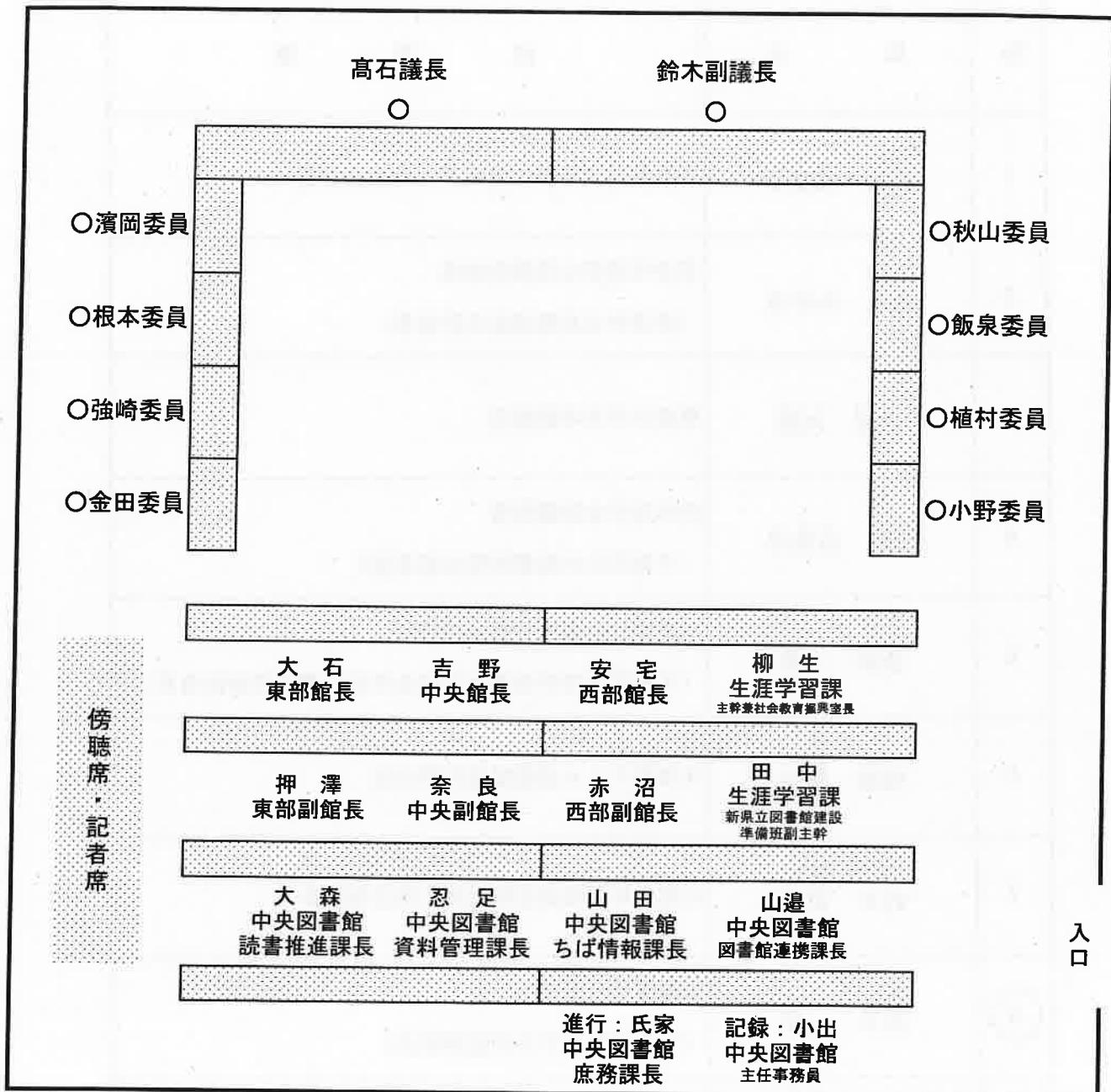
（3）新千葉県立図書館・県文書館複合施設の進捗状況について（報告）

（4）その他

4 その他の事項

5 閉 会

## 令和3年度第3回千葉県図書館協議会 座席表



千葉県図書館協議会委員名簿（第36期）

任期 令和3年7月22日～令和5年7月21日

No.	氏 名	所 属 等
1	秋山 美奈子	千葉県特別支援学校 P T A 連合会会长
2	飯泉 みゆき	君津市周南公民館副館長 (君津市公民館連絡会副会長)
3	植村 八潮	専修大学文学部教授
4	小野 白実子	四街道市立図書館長 (千葉県公共図書館協会監査役)
5	金田 一幸	千葉県立佐倉南高等学校校長 (千葉県高等学校教育研究会学校図書館部会副会長)
6	強崎 章子	千葉県 P T A 連絡協議会副会長
7	鈴木 宏子	千葉大学附属図書館利用支援企画課長
8	高石 良	千葉信用金庫理事 (元千葉県立中央図書館館長)
9	根本 彰	東京大学名誉教授
10	濱岡 真紀	東金市立鴨嶺小学校教諭 (千葉県教育研究会学校図書館教育部会事務局長)

所属：令和3年7月22日現在【敬称略五十音順】

○：議長

千葉県図書館協議会出席職員及び県立図書館幹部一覧

生涯学習課

主幹兼社会 教育振興室長	ヤギュウ ヒロユキ 柳生 浩之		新県立図書館 建設準備班 副主幹	タナカ マサミ 田中 雅美
-----------------	--------------------	--	------------------------	------------------

中央図書館	西部図書館	東部図書館
館長 吉野 清	館長 安宅 仁志	館長 大石 豊
副館長 奈良伸一郎	副館長 赤沼 知里	副館長 押澤 裕子
庶務課長 氏家 麻奈	庶務課長 松井 真一	庶務課長 斎藤 利恵
読書推進課長 大森 明香	読書推進課長 若本朋子	読書推進課長 杉山裕子
資料管理課長 忍足 哲也	資料管理課長 山寺 映子	資料管理課長 中野晶子
ちば情報課長 山田 浩子		
図書館連携課長 山邊 學	図書館連携課長 平塚 明子	図書館連携課長 飯島 純子

## ○千葉県図書館協議会関係条例・規則

### 教育機関設置条例（抜粋）（昭和三十二年四月一日条例第四号）

（図書館協議会）

第五条 図書館に図書館協議会を置く。

- 2 図書館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から任命する。
- 3 前項の委員の定数は、十人以内とする。
- 4 第二項の委員の任期は二年とし、欠員の生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 前三项に定めるもののほか、図書館協議会の組織及び運営に関する必要な事項は、千葉県教育委員会が定める。

### 図書館協議会会議運営規則（昭和二十六年八月三十一日教育委員会規則第十号）

第一条 図書館協議会会議（以下「会議」という。）には、委員の互選による議長及び副議長一人を置くものとする。

第二条 議長及び副議長の任期は二年とする。

第三条 議長は会議を主宰する。

第四条 副議長は、議長を助け、議長に事故あるときは、その職務を行う。

第五条 会議は、議長が招集する。

第六条 会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。

2 会議の議決は、出席者の過半数で決める。

第七条 会議開催の場所及び日時は、会議に付議すべき事件とともに、議長が、あらかじめこれを通知しなければならない。

第八条 招集は、開会の日前、七日までに、これを通知しなければならない。ただし、急を要する場合はこの限りでない。

第九条 会議は、定例会及び臨時会とする。

第十条 定例会は、年三回以上これを招集しなければならない。

第十一条 臨時会は、必要がある場合においてその事件に限りこれを招集する。

第十二条 会議招集の通知後に急を要する事件があるときは、第七条の規定にかかわらず、直ちに、これを会議に付議することができる。

第十三条 関係職員は、会議に出席して意見を述べることができる。

第十四条 この規定に定めるもののほか、会議に必要な事項は別にこれを定める。

第十五条 会議に関する庶務は千葉県立中央図書館で行う。

#### 附 則

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（昭和六十二年四月一日教育委員会規則第二号）

この規則は、公布の日から施行する。

## (1) 令和4年度千葉県立図書館事業計画（案）について（協議）

### 【重点事業】

※（ ）以外は県立3館で実施

#### 1 県内図書館の中核としての役割

- ・資料搬送ネットワークの維持・改善、図書館運営相談 (課題の整理・検討)
- ・県立図書館職員の資質向上 (専門研修の受講)
- ・図書館職員研修センターとしての機能強化 (研修内容の充実)

#### 2 子どもの読書活動の推進

- ・子どもの読書活動推進センター機能の充実
  - (千葉県子どもの読書活動推進計画（第四次）に基づく読書活動の推進)
- ・家庭における読書活動の推進 (子育て支援情報サービスの充実（中央))
  - (読み聞かせボランティア入門講座の実施（中央))
- ・学校図書館への支援 (学校向け資料やホームページの充実（中央))
  - (特別支援学校への訪問読書支援の実施)
  - (探究学習についての利用支援方法の検討) 【新規】

#### 3 課題解決支援図書館機能の充実

- ・課題解決に必要な資料情報の蓄積及び支援サービスの実施・普及
  - (パスファインダーや時事問題等に関する資料（情報）案内の作成)
- ・千葉県立図書館情報システムの機器更新
- ・データベースの利用促進 (データベース活用講座の実施)
- ・図書館への来館が困難な利用者に対する情報提供 (手続きのオンライン化の検討) 【新規】
- ・県庁各課等への情報提供サービスの推進 (利用促進のための広報強化（中央))

#### 4 千葉県に関する資料や情報の蓄積、継承

- ・千葉県関係資料の計画的な収集整備、保存
  - 地域行政資料（インターネット情報を含む）の収集・保存の推進
  - 県内における大規模災害の関連資料及び防災関連資料・情報の収集
- ・千葉県関係の情報発信の推進
  - (千葉県歴史関係雑誌記事索引入力の実施（中央・東部))
  - (千葉県関係資料のデジタル化（中央))
  - (県民向け菜の花ライブラリー活用講座の実施)

#### 5 知の創造と循環を生み出す公共の場

- ・博物館、文書館等との連携 (講座、展示、資料貸出し、文献リストの作成等の実施)
- ・高齢者サービスの推進 (講座等の実施（東部))
- ・障害者サービスの実施及び市町村立図書館等への普及
  - (市町村や学校の図書館等に係る会議・研修会での広報)
  - (遠隔対面朗読サービスの実施（西部))
- ・図書館の広報戦略の推進 (ソーシャルネットワーキングサービスの活用等)

#### 6 県立図書館の事業点検及び再編準備

- ・1館集約に向けた課題の整理、検討、計画、準備

## 【業務内容】

### 第1 県内図書館の中核としての役割

#### 1 市町村の読書環境充実のための支援

##### (1) 資料搬送ネットワークの維持・改善（図書館協力業務）

###### ア 資料の図書館間貸出し

市町村立図書館等の求めに応じて、資料の図書館間貸出しを行う。

###### イ 図書館連絡車・協力車巡回

業者委託により県立3館の間で連絡車を巡回させ、県内の全ての市町村立図書館等に対し、週1回定期的に協力車を巡回し、県立図書館及び市町村立図書館等の相互貸借資料を搬送する。併せて、1館集約を見据えた資料搬送ネットワークの構築について検討を重ねる。

###### ウ 協力レファレンス

市町村立図書館等からの所蔵調査・資料調査・事項調査等の調査・相談等に対し、データベースや図書館資料を使って支援を行う。

###### エ 高等学校・特別支援学校・大学及び類縁機関等との連携

県内の高等学校・特別支援学校・大学及び類縁機関等と連携し、資料提供や協力レファレンス、研修等を行う。

資料搬送方法：協力車（西部・東部）、宅配便（中央・西部（協力車未巡回校））

###### オ 図書館未設置市町村支援

図書館未設置市町村の公民館図書室など読書施設に対し、資料の貸出しや協力レファレンス、教科書単元・テーマ別資料リスト等活用の紹介（中央）、運営相談等の支援を行う。

###### カ 担当者会議の開催

市町村立図書館等の相互協力担当職員を対象に、相互協力の円滑な推進を図るための会議を開催する。

#### 【資料搬送コース等】

##### 《県立間連絡車巡回コース》

曜日	図書館名
火・木曜日	県立中央 → 県立東部 → 県立西部 → 県立中央 → 県立東部

##### 《中央図書館協力車巡回コース》

コース名	Aコース	Bコース	Cコース	来館
曜日	水曜日	木曜日	金曜日	火曜日 金曜日
巡回施設	館山市図書館 南房総市図書館 鴨川市立図書館 勝浦市立図書館 御宿町公民館 いすみ市大原公民館 大多喜町立大多喜図書館天賞文庫 睦沢町中央公民館 一宮町まちの図書室	鋸南町立中央公民館 富津市移動図書館 君津市立中央図書館 木更津市立図書館 袖ヶ浦市立中央図書館 市原市立中央図書館 長柄町公民館 長南町中央公民館 長生村文化会館 白子町青少年センター 茂原市立図書館	ふれあいプラザさかえ 成田市立図書館 富里市立図書館 八街市立図書館 酒々井町立図書館 佐倉市立佐倉南図書館 千葉県教育振興財団 四街道市立図書館 八千代市立中央図書館 習志野市立中央図書館 県立保健医療大学 千葉大学附属図書館本館 〃 亥鼻分館	千葉市

## 〈中央図書館宅配・連携校〉

県立千葉高校	県立八千代東高校	県立大多喜高校	植草学園大学附属高校
〃 千葉女子高校	〃 八千代西高校	〃 大原高校	渋谷教育学園幕張高校
〃 千葉東高校	〃 津田沼高校	〃 長狭高校	東海大付属市原望洋高校
〃 千葉商業高校	〃 実颖高校	〃 安房拓心高校	東邦大学付属東邦高校
〃 千葉工業高校	〃 成田西陵高校	〃 安房高校	八千代松陰高校
〃 千葉南高校	〃 成田国際高校	〃 館山総合高校	成田高校
〃 檜見川高校	〃 成田北高校	〃 天羽高校	千葉敬愛高校
〃 千葉北高校	〃 下総高校	〃 君津商業高校	千葉黎明高校
〃 若松高校	〃 富里高校	〃 木更津高校	千葉大学附属特別支援学校
〃 千城台高校	〃 佐倉高校	〃 木更津東高校	県立千葉聾学校
〃 生浜高校	〃 佐倉東高校	〃 君津高校	〃 桜が丘特別支援学校
〃 磯辺高校	〃 佐倉西高校	〃 君津青葉高校	〃 袖ヶ浦特別支援学校
〃 泉高校	〃 佐倉南高校	〃 袖ヶ浦高校	〃 千葉特別支援学校
〃 幕張総合高校	〃 八街高校	〃 市原高校	〃 八千代特別支援学校
〃 柏井高校	〃 四街道高校	〃 京葉高校	〃 習志野特別支援学校
〃 千葉大宮高校	〃 四街道北高校	〃 市原緑高校	〃 千葉盲学校
〃 土気高校	〃 長生高校	〃 市原八幡高校	〃 富里特別支援学校
〃 千葉西高校	〃 茂原高校	千葉市立稻毛高校	〃 荣特別支援学校
〃 檜橋高校	〃 茂原樟陽高校	習志野市立習志野高校	〃 夷隅特別支援学校
〃 八千代高校	〃 一宮商業高校	千葉経済大学附属高校	千葉市立養護学校

## 《西部図書館協力車巡回コース》

コース名	Aコース	Bコース	Cコース	来館
曜日	水曜日	金曜日	木曜日	金曜日
巡回施設	千葉大学附属図書館松戸分館 松戸市立図書館 県立流山南高校 流山市立中央図書館 県立流山おおたかの森高校 野田市立興風図書館 野田看護専門学校 さわやからば県民プラザ 県立東葛飾高校 柏市立図書館 我孫子市民図書館 県立我孫子高校 〃 沼南高校 〃 沼南高柳高校 〃 松戸六実高校 〃 柏陵高校 〃 松戸国際高校	県立我孫子東高校 印西市立大森図書館 白井市立図書館 県立白井高校 船橋市北図書館 鎌ヶ谷市立図書館 県立鎌ヶ谷高校 市川市中央図書館 浦安市立中央図書館 県立浦安南高校 〃 浦安高校 〃 行徳高校 〃 市川南高校 〃 市川工業高校	県立松戸高校 〃 松戸馬橋高校 〃 小金高校 〃 流山高校 流通経済大学付属柏高校 柏市立柏高校 県立柏高校 〃 柏中央高校 麗澤中学・高校 県立柏南高校 芝浦工業大学柏中学高校 県立船橋北高校 〃 船橋古和釜高校 〃 薬園台高校 〃 船橋芝山高校 〃 船橋啓明高校 〃 船橋法典高校 〃 市川東高校 昭和学院中学・高校 県立国府台高校 千葉商科大学付属高校 県立国分高校 〃 松戸向陽高校	松戸市

## 〈西部図書館宅配・連携校〉

県立船橋高校	県立流山北高校	東京学館船橋高校	県立朝霞市川大野高等学園
〃 船橋東高校	〃 野田中央高校	市川高校	〃 松戸特別支援学校
〃 船橋二和高校	〃 清水高校	日出学園中学校・高校	〃 つくし特別支援学校
〃 船橋豊富高校	〃 関宿高校	東海大学付属浦安高校	〃 矢切特別支援学校
〃 市川昂高校	〃 印旛明誠高校	我孫子二階堂高校	〃 柏特別支援学校
〃 鎌ヶ谷西高校	船橋市立船橋高校	県立船橋特別支援学校	〃 湖北特別支援学校
〃 松戸南高校	松戸市立松戸高校	〃 船橋夏見特別支援学校	〃 印旛特別支援学校
〃 柏の葉高校	東葉高校	〃 市川特別支援学校	

## 《東部図書館協力車巡回コース》

コース名	Aコース	Bコース	Cコース	県立東部図書館内
曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
巡回施設	県立八日市場特別支援学校 北埼市立八日市場図書館 県立北埼高校 横芝光町立図書館 県立松尾高校 芝山町中央公民館 多古町立図書館 県立多古高校 神崎ふれあいプラザ 県立香取特別支援学校 〃 佐原白楊高校 香取市立佐原中央図書館 県立佐原高校	県立鎌子特別支援学校 鎌子市立鎌子高校 県立鎌子商業高校 〃 鎌子高校 千葉科学大学 鎌子市公正図書館 東庄町図書館 県立小見川高校 〃 東総工業高校 県立旭農業高校	九十九里町中央公民館 県立九十九里高校 〃 大網白里特別支援学校 大網白里市図書室 東金市立東金図書館 県立東金高校 〃 東金商業高校 〃 東金特別支援学校 城西国際大学 県立成東高校 山武市さんぶの森図書館 県立飯高特別支援学校	旭市図書館

## (2) 図書館運営相談

図書館の管理・運営やサービスに関する質問を市町村立図書館等から受け付けるほか、定期的に施設訪問し、図書館運営相談等に応じる。また、県内で大規模災害等が生じた際には市町村立図書館等の被害・休館状況等について情報共有を図る。

## (3) その他

## ア 新聞・雑誌総合目録の整備

市町村立図書館等や文書館行政資料室、県立保健医療大学図書館、さわやかちば県民プラザで所蔵する新聞や雑誌の総合目録を毎年更新してホームページ上で公開する。

## イ 読書活動支援

県内の読書活動を推進するため、市町村立図書館等と連携し、読書グループ関係団体への支援協力をを行う。また、読書会用テキストとして、同一タイトル10冊をセットにした十冊文庫の整備を進める。

## ウ 資料の巡回展示〈東部〉

市町村立図書館等及び学校図書館と連携し、東部図書館で実施した資料展示や依頼館の要望に沿った図書を選び巡回展示を行う。

## 2 図書館職員の研修センター

## (1) 職員の資質向上

県立図書館職員の資質向上を目的に館内研修を計画的に実施するとともに、新たな専門研修の受講を含め外部研修会等への職員派遣を積極的に行う。

## (2) 研修業務

市町村立図書館等職員に必要とされる専門的な知識・技術についての各種研修会を開催し、全県的な図書館サービスの維持・向上を目指す。開催方法については、引き続き遠隔開催などの手法を取り入れていく。また、研修時のアンケート結果等を分析し、研修プログラム充実に必要な課題を整理・検討する。

### 【中央図書館】

\*開催日等は予定

事業名	開催日	会場	参加予定数
公共図書館新任職員研修会	5月 日( )	未定	50人
公共図書館中堅職員研修会	10月 日(水)	千葉県文化会館	40人
図書館長研究協議会	未定	千葉県文化会館	40人
児童サービス基礎研修会 第1回	6月 日( )	オンラインによる遠隔開催	40人
第2回	7月 日( )	千葉県文化会館	40人
第3回	7月 日( )	千葉県文化会館	40人
第4回	9月 日( )午前	"	40人
第5回	" 午後	"	60人
地域行政資料研修会 第1回	11月18日(金)	中央図書館閲覧室	20人
第2回	未定	未定	20人
レファレンス研修会 (レファレンスサービス基礎研修)	6月17日(金) 6月 日( ) 6月 日( )	中央図書館閲覧室 中央図書館会議室 中央図書館会議室	20人 12人 12人
レファレンス研修会 (レファレンスサービス専門研修)	11月～1月	未定	30人
課題解決支援サービス研修会	10月	千葉県文化会館	30人

### 【西部図書館】

\*開催日等は予定

事業名	開催日	会場	参加予定数
公共図書館新任職員研修会	5月 日( )	西部図書館研修室 (オンライン同時配信)	18人
障害者サービス研修会 第1回	6月22日(水)	"	15人
第2回	6月29日(水)	"	15人
課題解決支援サービス研修会 第1回	7月(予定)	"	15人
第2回	9月(予定)	"	15人

### 【東部図書館】

\*開催日等は予定

事業名	開催日	会場	参加予定数
公共図書館新任職員研修会	5月 日(水)	東部図書館研修室	15人
課題解決支援サービス研修会	11月(未定)	東部図書館研修室	30人
千葉経済大学短期大学部と千葉県立東部図書館との連携研修会	未定	東部図書館管内の 読書施設	20人
学校図書館運営研修会	7月～8月	東部図書館研修室	15人

※公共図書館新任職員研修会については、オンライン遠隔研修併用で実施。また、他の研修会についても状況により遠隔研修による実施とする場合がある。

## 第2 子どもの読書活動の推進

### 1 子どもの読書活動の推進拠点

#### (1) 子どもの読書活動推進センター機能の充実

千葉県子どもの読書活動推進計画（第四次）に基づき、教育委員会、図書館、関係機関・団体、関係者等の連携拠点（センター）として子どもの読書活動の推進を図る。子どもの読書推進に関する施策・サービス等の調査・研究、普及・啓発、資料の収集と整備、担当者の研修及びネットワークの構築（連絡・調整、情報の共有、人や組織の連携等）を行い、センター機能の充実に努める。

#### (2) 来館者サービス

資料の貸出し、児童書研究のレファレンスのほか、定例おはなし会や親子で楽しむえほんの会、冬のおはなし会を開催する。また、子育て支援情報サービスの充実を図る。（中央）

#### (3) 市町村立図書館等への支援

市町村立図書館等への資料の貸出しや調査相談、ブックリストの提供、運営相談等を行う。

「児童サービス基礎研修会」を開催し、市町村立図書館等の児童サービス担当職員の養成に努める。（中央）

#### (4) 読み聞かせボランティアの養成

「読み聞かせボランティア入門講座」を開催するとともに、市町村立図書館等や学校図書館が実施する子どもの本の読み聞かせボランティアを養成する講座等に講師として職員を派遣する。（中央）

#### (5) 出張おはなし会

博物館等関係機関で開催するイベント等に協力し、職員が出向いて、おはなし会や読み聞かせを行う。（中央）

#### (6) ヤング・アダルトサービスの実施

県内高等学校の図書委員会活動の取材・紹介、県立図書館ホームページ内のヤング・アダルトサービスのページの充実、Twitterによる発信に努める。（中央）

#### (7) 障害者用資料の製作

児童資料の点訳絵本等を製作する。（中央）

#### (8) 広報・啓発業務

- ・「子どもの読書活動推進センター通信」の編集・発行
- ・子ども読書の日記念展示の開催（中央・東部）
- ・生涯学習課主催の「子ども読書の集い」への出展（中央）

## 2 学校図書館への支援

### (1) 高等学校・特別支援学校向け貸出用資料の整備

学校用貸出セット資料を整備し、校長会、教員研修会等の場で広報するとともに、資料搬送・宅配未登録校へは説明資料を郵送し、利用の促進を図っていく。

資料搬送方法：協力車（西部・東部）、宅配便（中央・西部（協力車未巡回校））

### (2) 資料の貸出し・運営相談等

学校図書館への資料の貸出しや調査相談、運営相談を行う。

生徒向けに高等学校で実施する読み聞かせ講座に講師として職員を派遣する。（中央）

高等学校を対象に、隨時、希望により訪問運営相談を実施する。〈西部・東部〉  
学校図書館運営研修会を開催する。〈東部〉

**(3) 特別支援学校への訪問による読書支援**

希望する学校に職員が訪問し、おはなし会や運営相談等の読書支援を行う。

**(4) ホームページでの学校向け情報発信**

「学校の先生方へ」等ホームページにより、県内諸学校に向けた情報発信の充実を図る。

**(5) 探究学習についての利用支援方法**

探究学習についての利用支援方法を検討する。

### 第3 課題解決支援図書館機能の充実

#### 1 調査研究に役立つ資料の収集・蓄積と情報の提供

**(1) 資料の収集・整理・保管業務**

**ア 収集**

「千葉県立図書館資料収集方針」等に基づき、県民の調査研究活動の支援及び市町村立図書館等への協力・支援に資する資料を収集するものとし、特に3館が一体となって県立図書館全体の蔵書構築ができるよう、以下の点に留意し収集に努める。

中央図書館では、総記、社会科学、言語等の資料を重点的に収集する。また、千葉県関係資料の網羅的・系統的な収集に努めるほか、官公庁をはじめ、関係機関や県内の諸団体の刊行物、個人の自費出版物等の収集・整備に努める。さらに、県内における子どもの読書活動推進のセンター館として、児童資料及び児童書研究資料の充実を図るほか、学校支援用の図書を整備する。西部図書館では、自然科学・技術分野に加えて哲学、芸術等の資料を重点的に収集する。東部図書館では、文学・歴史分野の資料を重点的に収集する。

**イ 整理**

資料の発注から廃棄までの整理業務は電算システムを活用して行い、装備は、バーコードラベル、背ラベル、不正持出し防止用の磁気テープ、フィルムコーティング等を施し、資料の保全を図る。

**ウ 資料整備計画**

区分	中央図書館	西部図書館	東部図書館	合計
購入図書資料	4,801 冊	3,800 冊	2,630 冊	11,231 冊
寄贈図書資料	3,000 冊	600 冊	400 冊	4,000 冊
逐次刊行物(購入)	152 タイトル	279 タイトル	190 タイトル	621 タイトル

**エ 保管**

収集資料を継続的・効率的に維持保存・利用するために、蔵書点検(10月18日～27日)を行う。なお、千葉県立図書館情報システムの機器更新のため、規模を縮小して実施する。

**(2) 電算業務**

**ア 業務系システム**

平成29年11月より稼働している「千葉県立図書館情報システム」については、10月に機器入替とソフトウェアのバージョンアップ等の作業を行う(3期目)。

**イ インターネット系システム**

「千葉県立図書館ホームページ」については、ソフトウェアのバージョンアップにより、蔵書検索結果画面への書影掲載、現行の横断検索システムや図書館ポータルの改良など、更に利用しやすく利便性が高まるよう整備する。

## 2 調査研究や政策形成の支援

### (1) 調査相談業務（レファレンスサービス）

#### ア 調査回答

図書及び新聞・雑誌、マイクロ資料等の所蔵資料、インターネット情報源、データベース等を活用し、口頭や電話、メール、文書等による個人や市町村立図書館等からの調査相談に対し的確に回答する。

#### イ 研修会の開催

市町村立図書館等職員を対象に、課題解決支援サービス研修会やレファレンス研修会を開催する。

#### ウ パスファインダー（調べ方案内）、「図書館から世界（ニュース）が見える」の作成

県民ニーズを把握し、県民が関心を持つテーマに関する調べ方を紹介するパスファインダー（調べ方案内）並びに時事問題や地域の課題等に関する資料（情報）を案内する「図書館から世界（ニュース）が見える」等を作成、提供する。

#### エ レファレンス事例の公開

調査回答事例を国立国会図書館レファレンス協同データベースに提供し、県民がホームページで閲覧できるようにする。

#### オ 国立国会図書館の提供する「図書館向けデジタル化資料送信サービス」の利用

「図書館向けデジタル化資料送信サービス」が調査研究に活用されるよう県民への広報を行うとともに、資料の提供、複写サービスを行う。

#### カ データベースの利用促進

データベースの利用を促進するため、積極的に広報を行う。また、利用者向けにデータベース活用講座を開催する。

#### 【データベース】

	データベース名	中央	西部	東部
総合	ジャパンナレッジLib	○	○	○
	国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料送信サービス	○	○	○
	国立国会図書館 歴史的音源（配信提供館）	○	○	○
	サピエ（視覚障害者情報総合ネットワーク）	○	○	○
	ブリタニカ・アカデミック・ジャパン	○	○	○
新聞・雑誌の 記事・論文	日経テレコン21	○	○	○
	朝日新聞クロスサーチ（予定）	○	○	○
	毎索	○	○	○
	ヨミダス歴史館	○	—	—
	中日新聞・東京新聞記事データベース	○	—	—
	産経新聞データベース	○	○	○
	ELNET ELDB	○	○	○
	Web OYA-bunko	○	○	○
	ざっさくプラス	○	○	○
	JDream III	○	○	○
社会科学	D1-Law.com（現行法規・判例体系・法律判例文献情報）	○	○	○
	総合企業情報データベースeo1	—	○	—
	官報情報検索サービス	○	○	○
	市場情報評価ナビ MieNa	○	—	—
	TSR企業情報ファイルCD・eyes50	○	—	—
人文科学	Whoplus	○	○	○
	日本文学Web図書館 和歌・連歌ライブラリー	○	○	○
	日本古典文学大系本文データベース	○	○	○

	レファコレ<日外レファレンスコレクション> (世界文学)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	レファコレ<日外レファレンスコレクション> (児童文学・ヤングアダルト)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
自然科学・ 技術・産業	医中誌Web	—	<input type="radio"/>	—
	最新看護索引Web	—	<input type="radio"/>	—
	ルーラル電子図書館	—	—	<input type="radio"/>

「ジャパンナレッジLib」は『国史大辞典』『日本歴史地名大系』『世界大百科事典』『新版角川日本地名大辞典』を含む

## (2) 閲覧業務

### ア 資料の館内利用・貸出し

図書及び新聞・雑誌、マイクロ資料等所蔵資料や、県内外の他の公共図書館及び国立国会図書館、大学図書館等からの相互貸借により、資料の提供や貸出し、複写サービスを行う。

### イ 図書館への来館が困難な利用者に対する情報提供

自宅への図書の直接貸出を希望する県民（資料貸出券の発行を受けている方）に対して、図書館に来館せずに郵送（送料自己負担）による図書（一部の資料を除く）の貸出し、返却サービスを行う。また、来館しにくい県民や災害等により一時的に図書館を利用しにくくなる県民への対応として、郵送による資料貸出券交付申込みを実施するほか、災害等の状況に応じて、個人貸出冊数や貸出期間の制限緩和を行う。さらに、手続きのオンライン化について検討する。

### ウ 資料の展示

所蔵資料の特長を活かしたテーマを設定し、定期的な資料展示を行う。

## (3) 各種講座の開催

各種講座を実施し、県民の学習機会の拡充に努める。

### 【講座等実施事業一覧】(研修事業は別掲)

\*開催日等は予定

事 業 名	中 央	西 部	東 部
図書館ナビ			未定
データベース 活用講座	新聞雑誌 記事検索	未定	
菜の花 ライブラリー	6月18日（土）	未定	未定
文学・歴史講座			9月
サイエンス・カフェ		11月	
課題解説 支援	くらしに役立つ 法律・判例情報 講座	8月～11月	
決支 援	はつらつライフ 講座		未定
障害者のための資料 デジタル化講座		5月25日（水）	
図書館音訳者 養成講座	11月～12月	10月～11月（予定）	未定
読書バリアフリー講 座	7月～9月	9月14日（水）	
サピエ図書館 活用講座	12月		
定例おはなし会	毎週土曜日		

親子で楽しむえほんの会	毎月第2金曜日		
冬のおはなし会	12月18日（日）		
読み聞かせボランティア入門講座	5月 9月		
教職員のための読み聞かせ講座（さわやかちば県民プラザ共催事業）	8月3日（水）		

#### （4）県庁各課等への情報提供

県民生活の維持向上等に係る施策を企画・立案している県庁各課等へ、業務で必要な資料の貸出しや調べものの支援として情報提供サービスを行う。また、県出先機関への郵送サービスを行うほか、利用促進のための広報に取り組む。

### 第4 千葉県に関する資料や情報の蓄積、継承

#### 1 千葉県関係資料の計画的な収集整備、保存

##### （1）資料の計画的な収集

千葉県関係資料の網羅的・系統的な収集に努めるとともに、文書館などの関係機関と連携し、官公庁など関係部署への寄贈依頼を定期的に行う。また、出版情報を新聞記事等により把握し幅広く収集するとともに、インターネット情報を含む地域行政資料の収集・保存に努める。

##### （2）チラシ等の作成・配布、研修会の開催と広報

千葉県に関するパスファインダー（調べ方案内）、千葉県資料のテーマ別資料リスト、菜の花ライブラリーを紹介する印刷物を作成・配布する。また県内公共図書館等職員を対象に、地域行政資料に関する知識を深め、日常のレファレンス業務や資料の保存・提供の充実を図るため、研修会を実施する。

##### （3）県内における大規模災害の関連資料及び防災関連資料・情報の収集

県民の課題解決支援の一環として、東日本大震災や、千葉県における房総半島台風、新型コロナウイルス感染症、鳥インフルエンザ等、県内に甚大な被害をもたらした災害に関する資料や、ハザードマップ等の防災に関連する資料・情報を適宜収集、整理、保存するとともに、資料の提供や図書館ホームページによる情報提供に取り組む。

#### 2 千葉県関係の情報発信の推進

##### （1）千葉県関係の情報検索ツールの充実

国立国会図書館レファレンス協同データベースへのデータ提供、千葉県関係の新聞・雑誌記事索引、歴史関係雑誌記事索引、千葉県に関する調べ方案内（パスファインダー）、千葉県資料のテーマ別資料リスト等の情報検索ツールを作成し、レファレンスサービスの充実に努める。

##### （2）貴重資料保存のためのデジタル化

和装本・地図・郷土誌など、資料の劣化状況や利用者ニーズ等を踏まえ、デジタル化を進める。

##### （3）菜の花ライブラリー活用講座の実施

県民が千葉県についての情報を効率的に幅広く入手し、千葉県への理解を深めるために、ホームページで公開している千葉県関係データベース「菜の花ライブラリー」の利用方法を学ぶ機会として菜の花ライブラリー活用講座を実施する。

## 第5 知の創造と循環を生み出す公共の場

### 1 博物館、文書館など関係機関との連携

博物館や文書館、さわやからば県民プラザ等と連携して、展示、講座、資料貸出し、文献リストの作成等を実施する。

関係機関が実施する講座等へ、職員を講師として派遣する。

### 2 すべての県民が利用しやすく快適な社会教育施設

#### (1) 高齢者・障害者サービス

年齢や障害のために図書館利用が困難な方が資料の提供を受けられるように、各種サービスや研修会を実施し、市町村立図書館等への普及を図る。また、先進事例を調査・研究し、サービスの推進に当たる。

##### ア 録音図書の貸出し・製作

希望する録音図書を、所蔵資料だけでなく、全国の点字図書館や公共図書館より借り受けて提供する。また、所蔵していない場合は、自館で製作し貸出しを行う。

##### イ 対面朗読

図書館音訳者が図書館の蔵書や持込みの資料などを朗読する。

オンラインによる遠隔対面朗読サービスを本実施する。〈西部〉

##### ウ 活字資料のテキストデータ化 〈西部〉

利用者へ迅速に情報提供できるよう、希望する活字資料をテキストデータ化してパソコン等で音声化するサービスを行う。併せて、作業に従事する図書館音訳者等向けに「障害者のための資料デジタル化講座」を開催する。

##### エ 録音図書等のデータ提供

「視覚障害者情報総合ネットワーク（サピエ）」に、所蔵する録音図書等の目録情報を、また、「国立国会図書館視覚障害者等用データ送信サービス」へ、製作した録音図書等のデータを提供し、利用者がインターネットで利用できる環境を整備する。

##### オ 図書館音訳者の養成

録音図書の製作や対面朗読を行う図書館音訳者を委嘱するとともに、図書館音訳者の技術向上に資するため、図書館音訳者養成講座を開催する。

##### カ 研修会の開催 〈西部〉

市町村立図書館等職員の公共図書館における障害者サービスの向上や、特別支援学校教職員への障害者サービスの啓発を目的に、障害者サービス研修会を開催する。

##### キ 読書バリアフリー講座の開催 〈中央、西部〉

アクセシブルな資料や読書支援機器を紹介するとともに、読書環境の整え方、読書を推進する取組等を周知することにより、活字による読書の困難な県民の読書環境の整備を推進する。

##### ク サピエ図書館活用講座の開催 〈中央〉

インターネットを活用して、録音図書・点字図書オンラインデータベースを体験する講座を開催する。

※「サピエ」とは、視覚障害者を始め、目で文字を読むことが困難な方々に対して、さまざまな情報を点字、音声データで提供するネットワーク（当該ホームページから引用）

##### ケ 高齢者サービスの推進 〈東部〉

高齢者サービスの課題の把握に努めながら、「はつらつライフ講座」等を開催するとともに、「はつらつライフコーナー」の充実を図る。

#### (2) 広報・啓発業務

県立図書館の機能・役割を県民に広く周知するために、「要覧」、「千葉文化 千葉県立中央図書館報」、「West Library 千葉県立西部図書館だより」、「知識は旅をする 千葉県立東部

図書館だより」、「利用案内」の編集・発行等を行うほか、次の事業を行い、図書館の広報を推進する。

- ア 県立図書館ホームページの充実
- イ ソーシャルネットワーキングサービスを活用した所蔵資料・事業内容紹介
- ウ 千葉県資料の県民向け広報の実施
- エ 広報紙等による所蔵資料・事業内容紹介  
館報等のバリアフリー化（テキスト版作成）を行う。
- オ 職場体験・インターンシップの受入れ〈東部〉  
小・中学生、高校生の職場体験、インターンシップの高校生・大学生を受け入れる。

## 第6 県立図書館の事業点検及び再編準備

### 1 行動計画の取組の推進

「千葉県立図書館行動計画」の進捗状況を図書館協議会へ報告し、意見をいただくとともに、ホームページに公表して図書館サービスの向上や改善に努める。

### 2 利用者アンケートの実施

図書館利用の満足度等利用状況を把握し、図書館運営の参考とするため、秋の読書週間に実施する。

### 3 県立図書館の再編準備

平成30年度から1館集約に向けた物流や研修、資料収集等といった課題の整理及び検討、計画、準備を進めており、引き続き取り組んでいく。

### 4 東部図書館における旭市図書館の一部使用

東部図書館の旭市への移譲までの間、当館の一部を旭市図書館として使用することに伴い、令和3年7月10日に開館した旭市図書館と当館の利用者サービスが円滑に行えるようにする。

令和4年3月

## 探究学習についての利用支援方法の検討（案）

### 1 「としょ部っ！ 中高生の本だな」の内容充実

- (1) 図書館の使い方 ○
- (2) 本・情報の調べ方 ○
- (3) 高校生向け調べ方案内
- (4) 探究学習向けリンク集 ○

### 2 学校等で探究学習を実施する大人への支援

- (1) 探究学習に関連する事例の掲載
- (2) 探究学習に活用できるコンテンツ

### 3 普及活動等

- (1) 「子どもの読書活動推進センター通信」での広報
- (2) 「図書館から世界（ニュース）が見える」での関連テーマ ○

凡例 ○=令和4年度着手  
無印=令和5年度以降対応



サイト内検索

検索

## としょ部っ！ 中高生の本だな

中学生・高校生のみなさんへ

「としょ部っ！」のページでは、読書活動や学習に役立つ図書館と資料の使い方、調べ物についてのご案内、

新しく入った本やおすすめの本、千葉県内の高校の図書委員会活動などを紹介しています。

千葉県立中央図書館の児童資料室には、「としょ部っ！」の本棚もあります。ぜひ一度手にとってみてください。



### 中高生向けおすすめ本の紹介

県立図書館の職員が中高生の皆さんにおすすめしたい本の紹介をTwitterに投稿しています。

詳しくは [#としょ部](#) で検索してみてください！

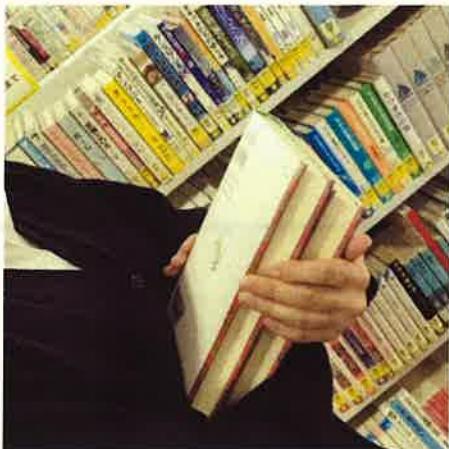
### 高校生向け調べ方案内

授業や課題の参考になる、「調べ方」について案内を掲載しています。

[高校生向け調べ方案内](#)

県内高校の図書室＆図書委員会活動

千葉県内高校の図書室の様子や図書委員会の活動を取材して紹介します。学校からの取材依頼も募集しています！



[四街道北高校（平成29年10月 PDF版:677KB）](#)

[船橋啓明高等学校\(平成30年7月 PDF版 : 1.06 MB\)](#)

[我孫子東高等学校（令和元年 PDF版 : 1.28MB）](#)

[薬園台高等学校（令和2年11月 PDF版:690KB）](#)

[千葉女子高等学校（令和2年11月 PDF版:1,065KB）](#)

## 図書館の使い方・資料の調べ方

中高生の皆さんに、図書館の使い方・本の調べ方をご案内します。



[図書館の使い方・資料の調べ方 \(PDF版:187KB\)](#)

## 関連リンク

### 【県内市町村立図書館の中高生向けページ】

[野田市 ヤングアダルトコーナー](#)

テーマごとにおすすめの本を画像付きで紹介しています。

[鎌ヶ谷市 YA新着図書](#)

新着図書やおすすめ本の紹介、YA新聞を発行しています。

[印西市 こどもにおすすめの本](#)

「BOOK de GO! (ブック・デ・ゴー) ~ティーンズおすすめブックガイド~」を掲載しています。

[白井市 ヤングのページ](#)

コーナー紹介、コミュニケーションボードの案内など掲載しています。

### 千葉市 中高生のページ

中高生にオススメの本や、知っていると便利な図書館豆知識を紹介しています。

### 習志野市 ヤングアダルトサービス

中高生向けリスト、所蔵しているライトノベルリスト、おすすめ本リスト等を掲載しています。

### 八千代市 ティーンズのページ

中高生の投稿によるお気に入りの本紹介「mon favori」や、職場体験の様子を掲載しています。

### 袖ヶ浦市 ティーンズページ

おすすめ本紹介、中高生の活動紹介、コーナー説明などを掲載しています。

### 酒々井町 ティーンズのページ

ブックセレクションやテーマ別ブックリストを掲載しています。

### 横芝光町 ティーンズ向けの本

ティーンズ文庫の新刊情報や、東部地域の図書館で選んだおすすめ本の紹介を掲載しています。

## 【その他団体】

### 国立国会図書館国際子ども図書館 キッズページリンク集

### ヤングアダルト出版会

### 朝日新聞 どくしょ応援団

## 児童資料に関するお問合せ・ご相談

千葉県立中央図書館児童資料室（☎ 043-222-0116）

PDF形式のファイルはAdobe(R) Reader(TM)を利用して表示、印刷することができます。

Adobe(R) Reader(TM)は無償でAdobe社サイトで提供・配布されています。ご使用のコンピュータにAdobe(R) Reader(TM)がインストールされていない場合は下のボタンをクリックしてAdobe社サイトよりダウンロードを行ってください。





令和4年3月

## 手続きのオンライン化の検討（案）

行政手続きのオンライン化については、国の「自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画（令和2年12月25日）」においても推進されている。

図書館においても一部オンライン化されていない手続きについて、順次オンライン化を進めていく。

なお、オンライン化を検討する手続きについては、例えば以下のようなものがある。

### 1 オンライン化する手続きの概要

#### ＜館内閲覧資料の予約＞

現在、個人貸出可能な所蔵資料については、ホームページや館内の検索パソコンから予約申込みができるが、参考図書や雑誌等、個人貸出できない資料については、来館もしくは電話等による申込みしかできない。

システムの改修は難しいため、別途申込フォームを作成するか、もしくは既存のメールレファレンスシステムで一般のレファレンスと判別できる形で運用を検討する。

#### ＜希望資料申込書＞

現在、県立図書館3館で所蔵していない本のリクエストについては、来館もしくは電話等による申込みしかできないが、オンラインでも行えるよう方法を検討する。

#### ＜紹介状の発行＞

大学図書館等で、部外者の入館に際し、公共図書館等の紹介状を求める図書館等がある。紹介状の発行については、本人確認が必要なため来館が必須となるが、ホームページであらかじめ発行の流れや様式等の手続き情報を案内することで、情報源へのアクセス機会を確保する。

また、併せて県内で紹介状の発行を行っている市町村立図書館等を案内することも考えられる。

### 2 今後の課題

著作権法改正による図書館資料のインターネット送信等、図書館をとりまく状況も考慮しつつ、図書館システムの更新機会や利用可能な県のシステム等を最大限に活用しながら、今後も継続して手続きのオンライン化の検討を進める必要がある。



## (2) 千葉県デジタルアーカイブ及び電子資料、電子書籍について（協議）

### はじめに

コロナ禍において、社会のデジタル化、DX化が急速に進んでいますが、県では、「県民の暮らしを豊かにする千葉県ICT利活用戦略」（令和元年9月）において、「誰もがどこでも能力を発揮できる社会」の実現に向け、多様な教育機会の提供に係る個別施策に図書館サービスの利便性向上を位置づけてきました。県立図書館では、県民の生涯にわたる多様な学習要求に応えるとともに、県内のどこに住んでいても等しく図書館サービスを受けられるよう、千葉県立図書館ホームページにおいて、蔵書検索や図書の予約、調べ方案内、千葉県デジタルアーカイブを提供しています。また、千葉県内図書館横断検索により、県内図書館及び読書施設等の蔵書を一度に検索できるようにしており、さらに県内の図書館や文書館、博物館等が保有している文化情報資源を一括で検索できるシステムの整備を目指しています。

下表は、「千葉県立図書館基本構想」「新千葉県立図書館等複合施設基本計画」「千葉県子どもの読書活動推進計画（第四次）」「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」（読書バリアフリー法）におけるデジタル化に関する提言をまとめたものです。

なお、図書館のデジタル化には、資料のデジタル化、電子資料の収集、電子書籍サービスがありますが、本協議会では、資料のデジタル化を33頁の【資料2-1】「千葉県デジタルアーカイブの取組と課題」で扱い、それ以外を41頁の【資料2-2】「電子資料、電子書籍サービスの今後の取組と課題」で扱うこととしました。これは、国立国会図書館で大規模な資料デジタル化が図られ、現状、県立図書館における紙資料のデジタル化は、千葉県関係資料を優先して行っているためです。

① 千葉県デジタルアーカイブ	
千葉県に関する資料や情報の蓄積、継承	<p>【千葉県ならではのコレクション形成】</p> <p>【一般の検索エンジンからのメタデータやコンテンツにアクセスできるような仕組みの研究】</p> <p>【資料のデジタル化、オープンデータ化の推進】</p> <p>【貴重資料の劣化を防ぐ、紙資料の媒体変換（デジタルデータ化）】</p>
新たな知の拠点づくりに向けた基盤整備	<p>【デジタルアーカイブ活用のための資料整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協同して資料紹介や解説、テキスト情報の付与を行う</li> </ul> <p>【行政資料アーカイブの構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県や千葉県内市町村が作成したデジタルデータを包括に収集・管理するデジタルアーカイブの構築</li> </ul>

② 電子資料、電子図書館サービス	
県内図書館の中枢としての役割	<p><b>【デジタル化の推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存サービスの拡張</li> <li>・新しいサービスの開発</li> </ul> <p><b>【市町村立図書館等でのオンラインデータベース等の導入促進】</b></p> <p><b>【多様な形態による研修】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットを活用した研修</li> <li>・研修のアーカイブ化</li> </ul>
子どもの読書活動の推進	<p><b>【子どもと本をつなぐ新しいきっかけ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末等、ICTを活用した調べ学習</li> <li>・インターネットを利用した読書情報の有効活用</li> <li>・電子図書館の利用</li> </ul> <p><b>【すべての子どもが本に親しむための環境整備】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声図書、ICT機器の活用</li> </ul>
課題解決支援図書館の推進	<p><b>【様々な分野のオンラインデータベースの整備】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・データベース等の活用促進</li> </ul> <p><b>【電子書籍サービス導入の検討】</b></p>
すべての県民が利用しやすく快適な社会教育施設	<p><b>【非来館型サービスの充実】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用登録や資料の取り寄せの手続きをインターネットで行える仕組みの構築</li> <li>・デジタル化資料の公開</li> </ul> <p><b>【視覚障害、発達障害、肢体不自由など多様な障害のある人が読書しやすい環境整備】</b></p> <p><b>【点字図書、音声読み上げに対応した電子書籍の普及】</b></p>
新たな知の拠点づくりに向けた基盤整備	<p><b>【主催事業のインターネットを通じた中継やデジタルアーカイブとしての提供】</b></p> <p><b>【県民のICT活用を促進し、情報リテラシーの向上に寄与する活動】</b></p> <p><b>【デジタルアーカイブ活用のための資料整備】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協同して資料紹介や解説、テキスト情報の付与を行う</li> </ul> <p><b>【行政資料アーカイブの構築】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット上にある情報資源や電子書籍等に含まれるボーンデジタルの資料や情報への対応を検討</li> </ul> <p><b>【県の情報プラットフォームとしての役割】</b></p> <p>ジャパンサーチ等、国や他の機関の整備するプラットフォームとの連携</p>

## 参考)

### ○「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（読書バリアフリー法）」

#### 令和元年6月施行より抜粋

視覚障害、発達障害、肢体不自由など多様な障害のある人が読書しやすい環境整備、点字図書、音声読み上げに対応した電子書籍の普及

### ○「千葉県子どもの読書活動推進計画（第四次）」令和2年2月より引用

#### 情報モラル教育の充実

学習指導要領の改訂により、総則において「情報モラルを身に付けるよう指導すること」と明示されています。情報社会におけるルールやマナー、法律の理解とともに、それらを守ろうとする態度を育てていく必要があります。

## 子どもと本をつなぐ新しいきっかけ

### ・タブレット端末等ICTを活用した調べ学習

学校等において、ICTを活用した学習が推進されています。タブレット端末は、持ち運びができ、いつでも、どこでも簡単に調べ学習ができます。さらに、図書館等の書籍と併用することで、関連する情報を集め、知見を広げることができます。

### ・インターネットを利用した 読書情報の有効活用

スマートフォンの普及により、インターネットで手軽に調べたいことを検索できるようになりました。興味のある著者や本のタイトルを検索すれば、関連した本についてすぐに知ることができます。また、読書コミュニティサイトやレビューサイト等を利用して読書記録を付けたり、気になる本を見つけて仲間を作ったりすることができます。

インターネットやSNS等を上手に活用すれば、読書の楽しさが広がり、深めることにつながると考えます。この世界は無限大であり、新たな読書の楽しみ方が期待されます。

### ・電子図書館の利用

インターネット上の電子図書館がこれからさらに発展することが予想されます。例えば「青空文庫」では、著者が許諾した作品や著作権が消滅した作品を公開しています。様々な本を無料で読むことができます。電子図書館を利用することで、いつでもどこでも読書することが可能です。

## ○『千葉県立図書館基本構想』平成30年1月より抜粋

### 見直しの視点

情報通信技術の進歩と普及によりデジタル情報は飛躍的に増大し、紙資料と合わせてデジタル情報を提供することが図書館サービスにおいて重要性を増すとともに、地理的・時間的な制約を超えた発信型サービスも可能となる。

### 千葉県関係資料の計画的な収集、提供、保存

#### デジタル化と情報発信

県民がいつでもどこでも千葉県関係資料を検索・閲覧し、本県の文化に対する理解を深め、次世代に継承できるよう、貴重な資料のデジタル化を進め、インターネット上で公開していくことで、県民の文化・学習活動への活用を支援していく必要があります。

資料のデジタル化は、貴重資料の劣化を防ぐ手段としても重要な意味があります。

### 社会の変化に対応した図書館サービスの推進

千葉県立図書館でも、千葉県関係資料や、視覚障害のある方への資料のデジタル化や音声化に取り組んでいますが、国や関係機関の動向などを分析し、市町村立図書館をはじめ他の機関との連携を模索しつつ、電子図書館としての体制を整備していく必要があります。

### 書庫の狭隘化と資料の廃棄

収集・保存している資料をデジタル化することによる蔵書量の縮小についても、デジタル化するために著作権者など権利者の許諾を得ることや、資料のデジタル化と公開に要する予算の確保など課題が多く、現段階で書庫不足問題を抜本的に解決する手段とは成り得ません。

### 貴重資料の保存

著作権法などの法令や制度についての理解を深め、国や関係団体の動向を把握しながら、資料のデジタル化を進めることにより、インターネットを活用した利便性の向上を図るとともに、災害などによる貴重資料の消失に備えます。

## ○『新千葉県立図書館等複合施設基本計画』令和元年8月より抜粋

### 第3 新たな知の拠点の在り方

#### 1 知識基盤社会におけるデジタル化の進展

知識基盤社会と言われる現代においては、文化情報資源のデジタル化及び情報技術の進展は、「知の創造と循環」における様々な活動に大きな影響を与えようとしています。そこで、新たな知の拠点が将来にわたって県民に貢献するためには、文化情報資源や提供するサービスをデジタル化という潮流の下で捉え直す必要があります。

#### 2 これまでの領域を超える文化情報資源

文化情報資源のデジタル化は、これまで分けて扱われてきた様々な領域（資料の区分やそれを取り扱う組織、機関等）の境目を越えた資源の活用や、いくつもの領域が重なり合うところで新たな知が生まれることを促しています。

### 第5 新たな知の拠点の基本方針

#### 1 誰もが千葉県の文化情報資源に容易にアクセスできる環境の整備

千葉県の文化情報資源が網羅的に関連づけられ、誰もが千葉県の多様な文化情報資源に容易にアクセスできるような情報基盤システムを整備することを検討します。

#### 3 知の創造と循環を促すための様々な活動の展開

文化情報資源としてますますデジタルの資料や情報の比重が高まっていく中で、特にデジタルの世界では様々なクロスオーバーが生まれ、促されることを認識し、データや情報技術の領域における活動を重視した取組を検討します。

さらに、県民のICT活用を促進し、情報リテラシーの向上に寄与する活動を行います。

## 第6 新たな知の拠点の基本方針

### 1 機能の重なりから生まれるもの

#### (1) 県立図書館と県立文書館の融合—デジタル化による機能連携の推進

##### a デジタルアーカイブ活用のための資料整備

資料デジタル化等に関するノウハウ等を両館で共有し、協同して資料紹介や解説、テキスト情報の付与を行う等、より一層活用されるよう、整備します。

##### b 行政資料アーカイブの構築

両館が連携し、県や千葉県内市町村が作成したデジタルデータを包括に収集・管理するデジタルアーカイブの構築を目指します。

#### (2) 博物館等関係機関との連携

##### 関係機関との連携

主催事業については、来館の難しい県民・県内企業・団体も参加・利用できるよう、インターネットを通じた中継やデジタルアーカイブとしての提供を検討します。

### 2 県立図書館の運営方針

#### (1) 県内図書館の中核としての役割

##### デジタル化の推進

資料のデジタル化を推進します。デジタル化による既存サービスの拡張、新しいサービスの開発を研究します。

#### (3) 課題解決支援図書館

##### 市町村立図書館等でのオンラインデータベース等の導入促進

市町村立図書館等でのオンラインデータベース等の導入促進を図るため、導入事例の収集分析やオンラインデータベースの広域利用の在り方について市町村立図書館等と連携しながら研究します。

また、県内市町村立図書館に国立国会図書館「図書館向けデジタル化資料送信サービス」への参加を促すことで、県民の情報資源へのアクセスポイントを増やします。

### 電子書籍サービス導入の検討

電子書籍は、非来館型サービスや時間外サービス、拡大・読み上げソフトによる利用等、県立図書館のサービスでの活用が期待できるものであり、今後の市場動向等の変化に柔軟に対応できるよう、電子書籍を取り巻く状況の把握に努め、県立図書館としてのサービス提供について検討を進めます。

## (4) 千葉県に関する資料や情報の蓄積、継承

### 千葉県関係資料・情報のプラットフォームの構築

千葉県関係資料は公立図書館、文書館、博物館、郷土資料館等の様々な機関が所蔵していますが、所蔵館や資料の媒体に関わらず、一度で探し出せるシステムの構築や県内外の各機関が提供しているアーカイブ等との連携を目指します。デジタルデータが公開されている資料は検索時に閲覧できるようにするとともに、一般的な検索エンジンからメタデータやコンテンツにアクセスできるような仕組みを研究します。

### デジタルデータの公開

資料のデジタル化、オープンデータ化を推進し、データ公開にあたっては、クリエイティブ・コモンズ・ライセンスを表示するなど、情報を適正に流通させ、新たな知を生み出す活動を支援します。また、和本等の翻刻・解説が表示できるようにするなど、誰もが使いやすい公開方法を検討します。

### 千葉県関係資料の保存・継承

県立図書館は収集した資料の長期保存を図っていますが、千葉県関係資料は特に良好な状態で永く利用できるよう留意し、貴重資料の劣化を防ぐため、紙資料の媒体変換（マイクロフィルム化・デジタルデータ化）を継続します。

## (5) すべての県民が利用しやすく快適な社会教育施設

新たな知の拠点は、千葉県の文化情報資源や専門家集団が集まる知的生産の象徴となると同時に、老若男女を問わず、障害のある人にもない人にも、I C Tを活用する人にもしない人にも、すべての県民に等しく良質な図書館サービスを提供できるよう努めます。

## 第7 新たな知の拠点づくりに向けた基盤整備

### 2 取り扱うコンテンツ

#### (1) 県立図書館

##### 収集

県内図書館等全体での蔵書構成を考慮し、県立図書館では調査研究に必要な専門性・学術性の高い資料を中心に収集、提供します。インターネット上にある情報資源や電子書籍等に含まれるボーンデジタルの資料や情報への対応を検討するとともに、資料を県内で最低1冊は保存していく体制づくりに向けて県内市町村立図書館等の除籍資料の受入方針を定めます。

定期的な蔵書評価を行い、評価結果に基づく不足部分の補充等、限られた資料費でより効果的な蔵書構築を行います。

##### 整理

多様化・大規模化する所蔵資料の中から求める資料や情報を探しやすくするために、資料の配置や請求記号、著者名・件名の典拠コントロール等について検討し、方針を定めて整理を進めます。

##### 保存

「千葉県立図書館資料保存方針」の基本的な考え方を維持し、電子書籍の動向等を踏まえながら、資料を県内で最低1冊を保存し提供する体制づくり、長期にわたる収藏能力の確保に対応します。

また、資料のデジタル化の進展や県内図書館所蔵状況、保存スペースを勘案し、県立図書館として不用となる書籍については譲渡・廃棄等の手続きを行う等適切な蔵書構成の維持に努めます。

### 3 システム構築の考え方

#### (1) 県の情報プラットフォームとしての役割

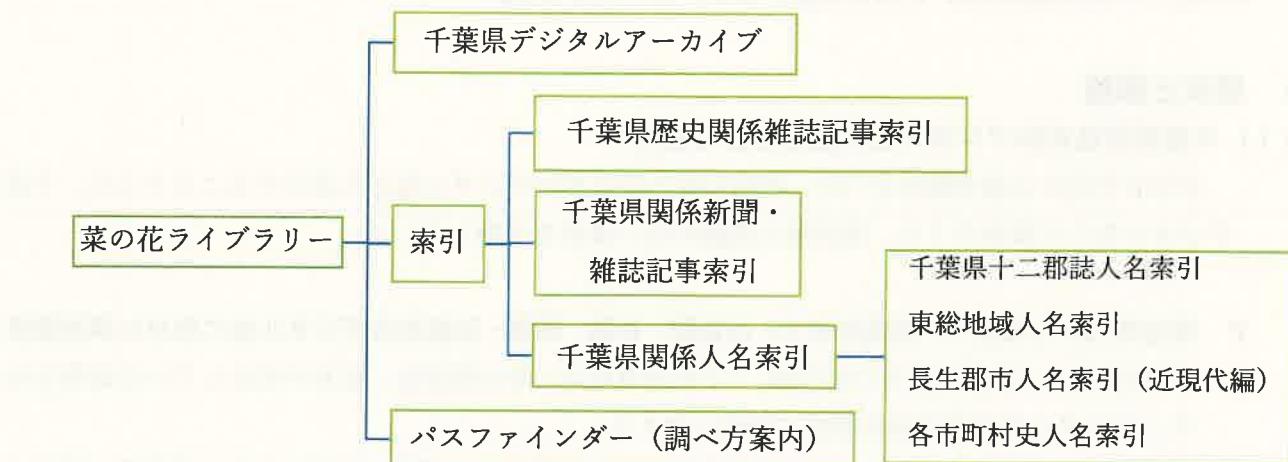
- \* ジャパンサーチ等、国や他の機関の整備するプラットフォームとも連携しながら、千葉の文化情報資源に焦点をあてた情報プラットフォームを整備する。
- \* プラットフォームの構築と維持管理を県立図書館が行うことと、千葉の文化情報資源の管理・活用の在り方を描く主体となることを目指す。

## 千葉県デジタルアーカイブの取組と課題

### 1 千葉県デジタルアーカイブの概要

#### (1) 菜の花ライブラリーにおける千葉県デジタルアーカイブの位置づけ

千葉県立図書館は、千葉県に関する資料のデータベース「菜の花ライブラリー」を運営している。「千葉県デジタルアーカイブ」はそこに収録されているデータベースの一つである。



#### (2) 千葉県デジタルアーカイブ

中央図書館で所蔵する貴重書のうち、主に江戸時代から明治時代前期にかけて発行された千葉県関係資料の画像を検索・閲覧できる。14種類のカテゴリがあり（39、40頁の「千葉県デジタルアーカイブ」を参照）、キーワード検索により、全てのカテゴリを一括検索することができる。令和4年度に更新する千葉県立図書館情報システムの次のシステムの整備時に、新館に向けた新たなシステムを構築するため、現状と課題を整理し、県立図書館が目指す千葉県デジタルアーカイブの具体化を検討しているところである。

- ・収録タイトル：2,113 タイトル（令和2年度末）
- ・予算：31万円（令和3年度資料デジタル化予算）（23 タイトル 約2,370 コマ（予定））

### 2 システムの変遷

年 月	事 項
平成 19 年(2007) 2 月	所蔵貴重書画像の公開開始、名称は「資料の森（電子図書館）」
平成 24 年(2012) 11 月	「菜の花ライブラリー」（新設）
平成 29 年(2017) 11 月	「菜の花ライブラリー」（リニューアル、操作性向上）
令和元年 (2019) 9 月	国立国会図書館のデータベースと随時連携

### 3 千葉県資料のデジタル化

- ・公開開始時（平成 19 年 2 月）は、江戸時代中後期以降に刊行された和古書や錦絵、絵図の中から、県民の関心が高い資料を中心にデジタル化。解題を作成し、所蔵資料のショーウィンドーのような位置づけ。
- ・以後、千葉県報、森川家文書（江戸時代の生実藩主森川家（現千葉市）の文書、原本は県文書館に移管）、江戸中後期から明治時代前期までの刊行物（「住民生活に光をそそぐ交付金」を活用）、千葉県が刊行した教育関係資料（『教育要覧』など）をデジタル化。

### 4 現状と課題

#### （1）千葉県関係資料デジタル化の長期方針の検討

令和 2 年度から優先順位をつけ、明治以降の洋装本のデジタル化から着手することとした。今後デジタル化した資料のうち、著作権上問題のない資料を公開していく。

##### ア 明治時代から戦前（一部現在まで）の新聞、雑誌、図書・和装本のデジタル化に向けた事前調査

- ・「千葉新聞」、「新総房」等の地方紙、「千葉教育雑誌」等の雑誌は、原本が劣化している資料もあり、デジタル化可否の事前調査に時間を要する。
- ・特定の個人のコレクションで、江戸時代から昭和前期までの図書・和装本の中に千葉県に関する資料が含まれている可能性があるが、内容調査の専門性が高く、着手できていない。
- ・地域密着の地方紙のデータを公開することによるプライバシー等への影響について検討する必要がある。

##### イ 古文書等の取扱いに必要な専門的な知識を持つ職員の確保

- ・内容調査に専門性を要する資料を扱える職員が必要である。

##### ウ デジタル化に係る予算と事前調査の人員の確保

- ・デジタル化の方針に従い、安定的に作業を進めるためには、予算と事前調査の人員の確保が必要である。

#### （2）データの活用促進の検討

##### ア データ活用方法の広報の促進

- ・県立図書館 3 館では「菜の花ライブラリー活用講座」を各館で年 1 回開催しているが、記事索引の解説・検索演習がメインであり、デジタルアーカイブの活用促進までには十分に至っていない。
- ・県立図書館の刊行物、配布物（本のしおり等）に画像を隨時掲載し、PR しているが、県民が千葉県の歴史や文化に関心を持ち、身近に親しんでもらえるような、魅力的な見せ方が十分にできていない。
- ・地域の学習や課題解決に有効活用するためのワークショップ等広報や活用方法を十分に検討で

きていない。

#### イ データの二次使用の促進

- ・出版物への掲載や放送番組での紹介、博物館等での展示などで利用されているが、県民が二次使用する際のルール（免責事項等）の案内がなく、利用者にとって利用方法が分かりづらい。

#### (3) 「菜の花ライブラリー」と「千葉県内図書館資料横断検索システム」との連携の検討

菜の花ライブラリーとは別の資料横断検索システムで県文書館（図書・パンフレット検索）、県博物館（「千葉県立博物館収蔵資料検索システム」）等の所蔵資料も一部検索できるが、利用方法が分かれづらいため、利用頻度も低い。

### 5 県立図書館が目指す、今後の千葉県デジタルアーカイブの状況

「新千葉県立図書館等複合施設基本計画」（令和元年8月 千葉県・千葉県教育委員会）の「新たな知の拠点の基本理念・基本方針」、「新たな知の拠点づくりに向けた基盤整備」を踏まえ、今後の千葉県デジタルアーカイブの状況を整理した。

#### (1) 県文書館との連携

##### ア ノウハウ等の共有

- ・協同での資料紹介や解説、テキスト情報の付与等、より一層の活用促進を目指す。

##### イ 行政資料アーカイブの構築

- ・県や県内市町村が作成したデジタルデータを包括的に収集・管理する。

##### ウ 両館のデジタルデータ、県保有のオープンデータ、官民データ等の利活用

- ・地域や社会の課題解決や活性化、教育等に資する取組を支援する。

#### (2) 県立図書館としての役割

##### ア 資料のデジタル化による既存サービスの拡張と新しいサービス開発の研究

##### イ 千葉県関係資料・情報のプラットフォームの構築

- ・公立図書館、文書館、博物館、郷土資料館等の所蔵する資料について媒体を問わずに一度で探せる。
- ・県内外の各機関が提供しているアーカイブ等と連携する。
- ・デジタルデータが公開されている資料は検索時に閲覧できる。
- ・一般的な検索エンジンからメタデータやコンテンツにアクセスできる。

##### ウ さまざまな利用しやすさについての検討

- ・オープンデータ化の推進

- ・クリエイティブ・コモンズ・ライセンスの表示など、情報の適正な流通に努める。
- ・和装本等の翻刻・解説など、誰もが使いやすい公開方法の検討
- ・ワークショップや出前講座など、活用方法のPR方法の検討

## エ デジタルアーカイブを前提とした収集

- ・県文書館との現物資料とデジタルデータそれぞれについての取扱の役割分担
- ・県内のその他の文化情報資源を扱う機関等との資料収集の役割分担
- ・インターネット上の情報資源や電子書籍等に含まれるボーンデジタル資料・情報への対応

### (3) システム構築の考え方

新たな知の拠点は、デジタルデータを含む幅広い文化情報資源※を集約し、それらが活用され、新たな知が生み出される公共の場となることを目指すものである。その実現のためには、多様な情報、コンテンツを受け入れ、相互につなげ、組み合わせることで、千葉県に関する情報基盤システムを整備することが望ましい。

※文化情報資源：書籍等の出版物、古文書、公文書・博物資料、デジタル資料、情報等。

令和4年度に更新する千葉県立図書館情報システムの次のシステムの整備時に向け、次のような観点に配慮しながら、新館に向けた新たなシステムを起動することを目指して検討できる体制を考えている。

## ア 基本的な機能

- ・県内の文化情報資源に関する情報が1つのインターフェースから検索できる。
- ・県内市町村や関係機関等が、情報基盤システムに自分たちの情報・コンテンツを登載でき、コンテンツ同士や他のプラットフォームとの間で相互に導線を設定することができる。
- ・市町村や関係機関等の利用・参加促進のために、技術的・制度的な制約の少ない、使いやすいシステムとする。
- ・各機関等がその専門とするコンテンツを登載する一方で、これまで収集対象とならなかった新しいコンテンツの受け皿となる。
- ・紙媒体だけでなく、写真、音声、映像のような様々な記録について、文書館、博物館、行政機関等の関係機関と連携して、収集・保存・公開を検討する。
- ・国立国会図書館のインターネット資料保存事業（WARP）との役割分担を整理する。

## イ 文化情報資源の活用促進のための機能

- ・一般的なインターネット検索からも目に留まるように登載された情報・コンテンツを提示するなど、人々と文化情報資源をつなぎ合わせる役割を担うとともに、情報・コンテンツの活用方法を例示できるような仕組みをもつ。
- ・様々な文化情報資源を登載する上で、情報・コンテンツが見つけやすく、また活用されやすくなるように、メタデータの在り方を検討する。

ウ 県の情報プラットフォームとしての役割

- ・ジャパンサーチ等、国や他の機関の整備するプラットフォームとも連携しながら、千葉の文化情報資源に焦点をあてた情報プラットフォームを整備する。
- ・プラットフォームの構築と維持管理を県立図書館が行うことで、千葉の文化情報資源の管理・活用の在り方を描く主体となることを目指す。



# 千葉県デジタルアーカイブ

## ○ 14種類のカテゴリ



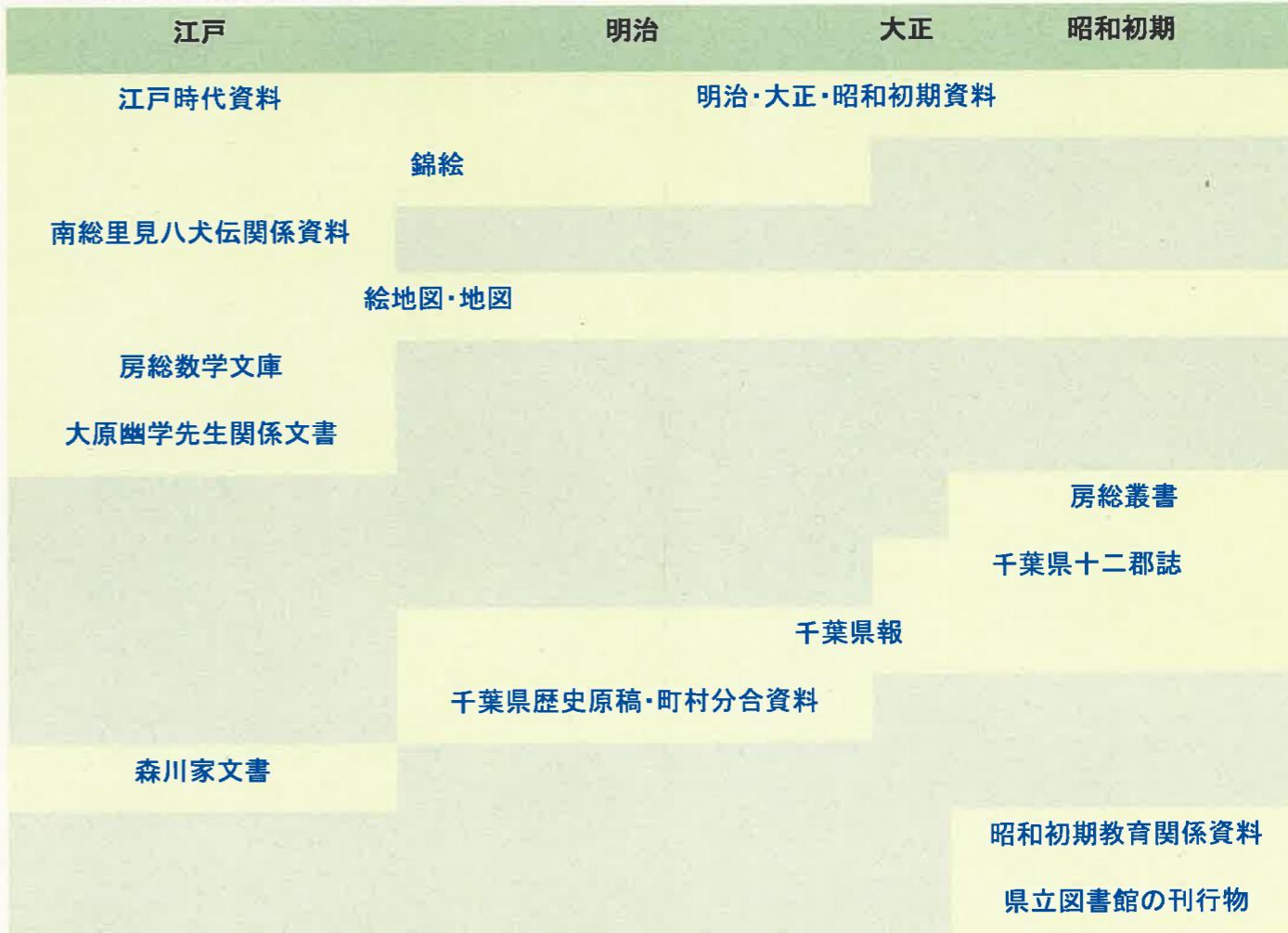
## ○ カテゴリの説明

- 1 **錦絵**：江戸後期～明治時代の千葉にゆかりのある「浅倉一代記」「銚子口満祝ひの図」等（30件）を公開している。
- 2 **八犬伝関係資料**：江戸時代の戯作者曲亭馬琴が著し、房総の地を舞台にした長編伝記小説。歌川国芳や歌川豊国等の挿絵入りの草双紙等（77件）を公開している。
- 3 **絵地図・地図**：江戸末期の「上総国輿地全図」、明治時代の「千葉県管内実測全図」等（60件）を開いている。
- 4 **房総数学文庫**：房総地域で江戸時代末期から明治時代にかけて発達した算学の流派、関流の流れをくむ算学家の花香安精とその一門が収集した、和算関係の著作・テキスト類（228件）を公開している。現物は千葉県立中央博物館に移管。県指定有形文化財。
- 5 **大原幽学関係資料**：幕末、北総農民の教育指導にあたった大原幽学に関係する文書群（47件）を開いている。
- 6 **房総叢書**：房総関係の地誌・軍記・古文書をはじめとする基本史料を集大成した叢書（11件）を開いている。
- 7 **千葉県十二郡誌**：県内12郡で大正～昭和初期にかけて編纂・刊行された郡誌（12件）を開いている。
- 8 **千葉県報**：千葉県報は県の条例、規則のほか様々な告示、公告等を公布、公表するための公報紙で、明治21年4月1日に第1号が『県報』として刊行された。『県報』以前の明治15年の公報から昭和

20年まで（72件）を公開している。

- 9 **千葉県歴史原稿**：明治政府が日本史の編纂を企画した際に提出した県の沿革の副本（2件）を公開している。正本は内閣文庫で所蔵。一部欠本あり。
- 10 **町村分合資料**：明治21年の「町村合併基準」の通達後、千葉県で行われた町村合併へ向けた基礎的な調査に関する公文書（22件）を公開している。
- 11 **森川家文書**：寛永4年（1627）から明治維新まで、11代にわたって生実（おゆみ：現千葉市）に居住した一万石の領主、森川家に関する絵図、文書（519件）を公開している。原本は千葉県文書館に移管。
- 12 **江戸時代資料**：「上総市原検地帳」、「利根川図志」等385件を公開している。
- 13 **明治・大正・昭和初期資料**：千葉県に縁のある「伊藤左千夫書簡」、「佐倉宗吾一代記」等（704件）を開いている。
- 14 **昭和初期教育関係資料**：千葉県教育委員会事務局が刊行した「千葉県並県下教育関係団体教育行事表（昭和5年度）」、「千葉県教育要覧（昭和24年度）」等（13件）を開いている。
- 15 **県立図書館の刊行物**：千葉県立中央図書館の前身の千葉県図書館が刊行した「読書学習団規程」（昭和7年）、「御成婚記念千葉県図書館落成記念」（昭和9年）等（14件）を開いている。

## ○ 各カテゴリの年代概念図



## 電子資料・電子書籍サービスの今後の取組と課題

### 1 電子資料・電子書籍サービスの今後の取組

千葉県立図書館は、資料へのアクセスの拡大、図書館サービスの向上、適切な資料管理を目指して、電子資料、電子書籍サービスに取り組み、千葉県立図書館基本構想の実現を図るとともに、1館集約により来館が困難な利用者が増えることへの対応、また、時間的、地理的、身体的に来館困難な県民へのサービス向上を図る。

検討に当たっては、千葉県立図書館基本構想に基づき、以下①県民の調査研究・課題解決の支援、②読書バリアフリーの推進、③子どもの読書活動の推進、④千葉県関係資料の保存・継承の観点から、収集分野やサービス面の検討を重ねながら、予算要求を含め、取り組んでいく。

#### ① 県民の調査研究・課題解決を支援する

ア 県立図書館の役割を踏まえ、より多くの県民の調査研究や課題解決を支援するための学術書、専門書を提供する。それにより、紙資料についてと同様、多様で奥行きのある資料提供の機会を確保し、市町村立図書館の役割・機能を支援していく。

イ 調査、統計、行政資料、非流通資料など、最初から電子資料として刊行されたボーンデジタル資料やオープンデータの収集、提供に着手し、紙資料からデジタル資料への移行を行う。

#### ② 読書バリアフリーを推進する

電子書籍は、合成音声での読み上げのほか、文字の拡大、画面のハイライトなど、視覚や発達、身体の障害に応じた利用が可能である。県立図書館では、この特性から、障害者用資料として、オーディオブックや、マルチメディアディイジーなどの音声資料、電子資料を収集するほか、視覚障害者からのリクエストに応じ、紙資料のテキストデータを作成して提供している。また、音声資料、電子資料を利用するための読書支援機器活用講座等を開催し、一般県民や市町村図書館等への普及啓発を行っている。

今後の電子資料、電子書籍の導入にあたっては、これらの実践を踏まえ、すべての人にとって真に利用しやすいサービスとするべく、ホームページ及び資料それぞれの閲覧環境等、アクセシビリティに留意する。

#### ③ 子どもの読書活動を推進する

教科書のデジタル化や、GIGAスクール構想により、児童生徒のタブレット利用が進められている。また、探究的学習の推進により、一人一人の興味関心に沿った学びが提唱されている。公共図書館は、児童生徒が「自ら学ぶ楽しさや知る喜びを体得し、さらなる探究心や真理を求める態度が培われる」※よう、紙資料、デジタル資料を問わず、学習に必要な資料の確実な収集、提供に努め、図書館活用を促す役割がある。

※「第四次子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」平成30年4月20日

**④ 千葉県関係資料の保存、継承をすすめる**

本県の文化に対する理解を深め、次世代に継承できるよう、貴重資料をデジタル化する。(33 頁の資料 2-1 「千葉県デジタルアーカイブの取組と課題」)

## 2 今後の課題

**① アクセスの拡大と経費に見合った導入検討**

電子書籍は、アクセス回数や閲覧期間等の制限があるほか、提供に伴うシステム改修、職員の訓練等も視野に入れ、経費に見合った導入を行う必要がある。また、紙資料とデジタル資料の特性に応じた収集、提供により、アクセスの拡大と資料の有効活用を図ることも必要である。

- ・コンテンツの買い切りが可能で、購入後に使用料やシステム運用費が継続的にかからない場合でも、図書館資料（蔵書）とはならない。このため、なんらかの事情により契約終了する場合、アクセス（利用）ができなくなる。
- ・再生機器の画面を長時間見ることによる身体への影響から、図書館利用者がデジタル資料より紙資料を好むことも想定される。資料のボリュームや、利用目的（通読か一時参照か）、利用対象（年齢等）に応じ、利用しやすい形態を考える必要がある。
- ・個人貸出ができない参考図書や、同じ本を複数の生徒が使用する場合などに、紙資料とは別に、アクセス拡大のために同一資料のデジタル版を所蔵することも考えられる。

**② デジタル格差の解消**

電子書籍の導入段階においては、多様な電子書籍に触れる機会を提供することにより、新しい生活様式、社会の DX 化が進む一方、コンピュータやスマートフォンを所有しなかったり、操作できないあるいは利用に制限のある県民に不利益のないよう、普及のための研修会や、閲覧のための機器の貸出等も検討する必要がある。

**③ 資料の適切な管理**

電子書籍、電子資料の記録媒体の寿命は紙資料に比べて短く、対応する再生機器やソフトウェアの更新が必要なため、将来的な利用、保存面で紙資料の代替とならない場合がある。

## 参考) 1 『電子図書館・電子書籍貸出サービス調査報告 2021』による分類

電子図書館の分類及び県立図書館の対応状況は以下のとおりである。

### (1) 狹義の電子図書館

- ・電子書籍貸出サービス
- ・オーディオブック（前掲 41 頁の 1 - ②）

### (2) 広義の電子図書館

#### 導入済み

- ・国立国会図書館 図書館向けデジタル化資料送信サービス
- ・データベース提供サービス、
- ・デジタルアーカイブの提供
- ・障害者向け電子書籍等提供

#### 未対応

- ・電子ジャーナルサービス
- ・パブリックドメイン電子書籍提供
- ・音声配信サービス（ナクソス・ミュージック・ライブラリー）

## 参考) 2 電子書籍サービス導入の状況

### (1) 都道府県立図書館の導入状況

一般社団法人電子出版制作・流通協議会発行の『電子図書館・電子書籍貸出サービス調査報告 2021』によると、日本国内で電子書籍サービスを導入している自治体はこれまで 1 割にも満たなかったが、新型コロナウイルス感染症の影響等による休館や利用制限など、図書館の来館利用が難しい状況の中で、非来館による電子書籍の貸出サービスが注目され、全国的にもサービスを導入する自治体（図書館）が急増した。2021 年 10 月 1 日現在の導入自治体数は 258 で、前年同日と比較すると、この 1 年で 114 自治体増加している。

導入数	都道府県立の導入館 太字：2020 年 10 月以降の導入
12 都県	①東京都、②山梨県、③岐阜県、④静岡県、⑤愛知県、 ⑥広島、⑦山口県、⑧徳島県、⑨高知県、⑩福岡県、⑪大分県、⑫沖縄県
	国の令和 2 年度補正予算「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用する自治体が多い。

一般社団法人電子出版制作・流通協議会発行の『電子図書館・電子書籍貸出サービス調査報告 2021』より作成

## (2) 主な事業者と導入状況（都道府県）

導入数		事業者
全自治体	うち都道府県	
216 自治体	①東京都、②山梨県、③広島県、④高知県	A 社
23 自治体	なし	B 社
9 自治体	①岐阜県、②静岡県、③愛知県、④山口県、 ⑤徳島県、⑥福岡県、⑦大分県、⑧沖縄県	C 社
7 自治体	なし	D 社

一般社団法人電子出版制作・流通協議会発行の『電子図書館・電子書籍貸出サービス調査報告 2021』より作成

## (3) 主な事業者と導入状況（県内市町村）

導入数		太字：2020年10月以降の導入	事業者
全自治体	千葉県内市町村		
216 自治体	①千葉市、②流山市、③八千代市、④木更津市、 ⑤船橋市、⑥四街道市、⑦茂原市、⑧君津市、 ⑨八街市、⑩印西市、⑪酒々井町、⑫長柄町※	A 社	
23 自治体	①成田市、②館山市	B 社	
9 自治体	なし	C 社	
7 自治体	なし	D 社	

一般社団法人電子出版制作・流通協議会発行の『電子図書館・電子書籍貸出サービス調査報告 2021』より作成

※図書館未設置の長柄町では、教育委員会生涯学習課が所管。

## 新県立図書館等複合施設整備事業

予算額 424,700 千円 (R3 134,200 千円)  
 (債務負担行為 610,000 千円)

### 1 事業の目的・概要

知識や情報の収集・発信拠点として県民に良質なサービスを提供するため、3館ある県立図書館を1館に集約するとともに、文書館との複合施設とすることで機能強化を図り、新たな「知の拠点」として整備する。

建設予定地：青葉の森公園内（右図参照）

延床面積：約 17,000 m<sup>2</sup>

敷地面積：約 18,500 m<sup>2</sup>

建物：地下1階、地上2階

収蔵能力：開架 15 万冊、書庫 255 万冊



### 2 事業内容

新千葉県立図書館等複合施設基本計画（令和元年策定）を踏まえ、基本設計を行うとともに、施設整備に必要な各種調査を行うほか、実施設計に着手します。

- ・埋蔵文化財調査 130,000 千円  
 (債務負担行為 30,000 千円)
- ・基本設計業務委託 274,000 千円
- ・地質調査 17,000 千円
- ・方眼測量調査 3,500 千円
- ・安全柵設置及び保守管理 200 千円
- ・実施設計業務委託  
 (債務負担行為 580,000 千円)



〈埋蔵文化財調査の様子〉

担当課・問い合わせ先 教育庁教育振興部生涯学習課

043-223-4070

